

ひきこもり・不登校を考える鹿行地区学習会(結成8周年)

「不登校・ひきこもりの理解と対応」

- ☆『本人の自律』を育む寄り添う支援を考える
- ☆『生き辛さ』に共感し、共に生き続ける地域づくりを考える



◆内閣府はひきこもり146万人と推定。

1億2000万人の1%=100人に1人、15歳～64歳までの勤労世代の2%=50人に1人の割合。

◆文科省は不登校約35万人と公表、年々増加。

子どもの自死、昨年513人=毎日1.4人の子どもが自死を選択。

◆高校中退は7万人、3年連続増加。通信制高校は30万人=全高校生の11人に1人の割合。

◆児童虐待、児童相談所への相談件数増加中。2023年度は22万5千件(前年比+5%)

◆高齢者の自殺(2021年内閣府調査); 70～79才 3009人。80才以上 2214人。

子どもも大人、高齢者も生き辛さを抱えているようです。

市民の皆さん、一緒にこの「生き辛さ」について考えていきたいと思います。

日時 **2025年9月21日(日) 13:30～16:30**

場所 鉾田市中心公民館・集会室 (鉾田市鉾田1444番地1)

内容

講師1 茨城県のひきこもり支援の現状と課題

浅沼秀司氏(茨城県ひきこもり相談支援センター所長)

ひきこもり・不登校支援30年の経験をお持ちの「専門家」。一般社団法人アイネット理事長。

困難を抱える方の問題解決のために、法人を設立し、新たな社会資源を構築。その取り組みが評価され、令和3年度内閣府担当大臣より表彰。37名の職員と共に活動中。

講師2 30代半ば青年「生き辛い生活/人生曲線から、どう歩み出したか」を語ります

誕生 小学校 中学校 高校 定時制高校 就職 大学



登校時いじめ

中1秋から不登校

不登校

ゲームに夢中

卒業しなくては

と決意

自尊心を傷つき

うつに

社会福祉士めざし

大学へ

交流会: 講師を交えて参加者によるグループ交流会(50分)

参加費 1,000円。定員50名(先着順)

申込み先 *080-3277-2002(小林) 電話かショートメールにて。

*メール yukki.hati@gmail.com

申込み項目 ①お名前 ②市町村名 ③電話番号

<毎月例会を開催>

★第1(火)、第3(日);

13:30～16:00

鉾田市中心公民館にて
当事者、家族の交流と学習
をしています。

★個別相談は随時受付。

主催: ひきこもり・不登校/つながり考える鹿行の会

後援: 鉾田市

協力/不登校・多様な学びネットワーク茨城